



事業実施内容

本事業では、アフリカの大学生、大学卒業生を対象に、オンライン学習・評価・ジョブマッチングを統合したプラットフォーム「LEAP」のMVPを開発しました。教材視聴から課題提出、レビュー、評価結果の集約までを一つの流れにまとめ、学習者の進捗・品質・期日遵守などの実績が追える形に整備しています。加えて、案件に必要な基礎スキルを短期間で揃えるための育成導線と、実務投入前後のフォロー（再提出・改善）を回せる運用設計を行いました。

同時に、大学内に「Ready to Bloom Hub」を設置し、機材・作業環境・運用ルールを整備しました。家庭に十分な設備がない学生でも参画できるよう、Hubを学習と稼働の拠点として活用し、遠隔チームでも品質基準を揃えられる体制を構築しています。学生はHubや遠隔環境で実案件に参画しながらスキルと実績を蓄積し、その成果を信用スコアとして可視化することで、継続案件への接続や役割拡張につながるモデルの実証を行いました。



ローンパソコン利用



作業風景

事業成果

- ・LEAP β版を2026年2月にリリース：学習→課題提出→評価→案件配属までの基本導線を実装し、実運用での改善を回せる状態まで到達しました。
- ・登録者103名：教材受講・課題提出・レビューを通じて、一定水準のスキルを確認できる育成フローを運用し、短期育成の再現性を検証しました。
- ・実案件稼働人数39名：実務投入に必要な基礎スキルと運用ルールを揃えた上で、納期遵守・品質確保を前提とした稼働体制を構築しました。
- ・日本企業複数社との案件実施：既存取引先を含む実案件を通じて、要件のすり合わせ～品質管理～納品までの一連のオペレーションを実証しました。

今後の事業展開

- ・LEAP商用版への機能拡張
多言語対応や権限設計、評価ロジックの高度化を進め、企業利用に耐えるダッシュボード・運用機能を拡充します。
- ・大学連携拠点（Hub）の拡大
既存拠点の運用を標準化しつつ、協業大学を増やし、学習者の受け入れ規模と稼働席数を段階的に拡張します。
- ・信用スコアの活用
学習成果・稼働実績・納期遵守などのデータを活用し、仕事の提供数を増やせる仕組みを段階導入します。
- ・継続的なBPO案件の拡大
既存顧客の深掘りと新規開拓を並行し、育成→配属→改善のサイクルを回しながら、安定した稼働人数の増加を目指します。